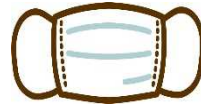


保健だより



令和3年5月28日

NO. 4

高田高等学校安塚分校

新型コロナウイルス感染症が学校でも感染拡大！

県立学校では新型コロナウイルス感染症の感染者が相次いでいます。現状から予防のために何をしなければならないのか、自分の行動を見直し感染拡大防止に取り組みましょう。

1 県立学校の現状

- ・ 風邪の症状があったが「大した症状ではない」と受診が遅れ、陽性が判明するまでの間に接触者が増えてしまった。
- ・ PCR検査を行ったときは陰性であっても、その後に発症し陽性となる例が複数あった。
- ・ 濃厚接触者が多数になることで、臨時休業期間が長引き教育活動に影響が出ている。

2 感染拡大防止に向けて取り組むこと

- 毎日、検温や健康観察を行い、風邪のような症状がある場合は、登校せずに医療機関を受診する。登校後に風邪のような症状が見られたら、早退し受診する。
- 医師からPCR検査等の実施を聞かれたら、積極的に受ける。
- 食事場面での感染症対策を守る。(下枠の中の項目を徹底する。↓)
- 家族や食事を一緒にした友人が体調不良になった場合や、自分自身が体調不良になり回復した後も、しばらくは不要不急の外出を控え、体調の変化に気を付ける。
- 臨時休業になった場合は、感染拡大防止のため外出を控える。

【感染予防対策で徹底すること】

1 学校での昼食等の食事場面での感染防止対策

- (1) 昼食は、自教室の自分の席で食べる。(席を移動させない。)
- (2) 食事中は、前を向き、会話はしない。(黙食)
- (3) 食事後に話すときは、必ずマスクを着用する。
- (4) 食事後の歯みがきやうがいをするときは、距離を保ち間隔をあけて換気のよい環境で行う。

2 学校外での食事場面での感染防止対策

- (1) 友だち同士で食事をするときは、食べている間は会話をしない。
食事後に話すときは、必ずマスクを着用する。
- (2) 体調不良があったときは、体調が回復した後もしばらくは友だち同士での飲食を控える。

3 家庭での感染防止対策

家族に濃厚接触者等や風邪の症状がある場合は、食事を別々にとる。家の中でもマスクを着用する。やむをえず一緒に食事をとる場合は、手指消毒をして、始めから個別に食事を取り分けるなど感染防止対策をとる。